

# 旅

MMU



国書刊行会

これからの表現と社会へ

# 膠

# を

# す

# る

武蔵野美術大学×国書刊行会  
公開講座

田中正之

橋本麻里

後藤秀聖

内田あぐり

二〇二一年

十一月二十日〔土〕

十七時—十八時半

ハイブリッド形式（来場＋オンライン）  
会場・武蔵野美術大学  
市ヶ谷キャンパス 五階講義室

表三本展 撮影：内田亜里  
左「内田あぐり監修『膠を旅する』国書刊行会、二〇二二年  
下「表現をつなく文化の源流  
（武蔵野美術大学 美術館・図書館、二〇二二年）会場風景  
撮影：内田亜里



登壇者..

田中正之（たなかまさゆき）

一九六三年東京都生まれ。

国立西洋美術館館長、

武蔵野美術大学客員教授。

橋本麻里（はしもとまり）

一九七二年神奈川県生まれ。

日本美術を主な領域とする

ライター、エディター。

公益財団法人永青文庫副館長。

後藤秀聖（ごとうしゅうせい）

一九八五年福島県生まれ。

日本固有の伝統的な絵画材料・

素材の文化史についての調査、

研究を専門とする。

原爆の図丸木美術館学芸員、

美学校超・日本画ゼミ講師。

内田あぐり（うちだあぐり）

一九四九年東京都生まれ。

画家、武蔵野美術大学名誉教授。

田中正之



橋本麻里



後藤秀聖



内田あぐり



武蔵野美術大学共同研究「日本画の伝統素材『膠』に関する調査研究」として、画家の内田あぐり氏を中心に、後藤秀聖氏らが共同研究員として参加し二〇一七年にはじまった膠の旅。「膠」を単なる日本画素材としてではなく、表現の源流にある社会的あるいは身体的問題へ接近するものとして再思考した研究は、二〇二一年に国書刊行会から出版された書籍『膠を旅する』および本学美術館にて開催された展覧会に結実し、大きな話題となりました。

# 膠を旅する

## これからの表現と社会へ

本公開講座では、書籍や展覧会について企画者の考えや思いを伺い、さらに特別ゲスト迎え、美術と社会構造を媒介するものとしての「膠」を起点として、私たちが日ごろ目にするのではない表現の原質を探ります。新たにはじまる旅の一步となる本公開講座をとおして、これからの表現の可能性が拓かれることでしよう。

なお本公開講座は、国書刊行会からの『膠を旅する』の出版および武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス講義室のリニューアル記念として開催します。



参加方法..来場、オンライン配信ともに、左下QRコード、もしくは本学webサイト (<https://www.musabi.ac.jp/colaboration/community/lecture/>) 記載のURLよりご予約ください。

会場..武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス 五階講義室  
〒一六二一〇八四三 東京都新宿区市ヶ谷田町一―四  
(JR中央・総武線「市ヶ谷」駅より徒歩二分)

\*新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催いたします。感染状況によってオンライン配信のみになる場合がありますこと、ご了承ください。

参加費..無料

主催..武蔵野美術大学  
共催..株式会社 国書刊行会  
問合せ先..武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス事務室 〇三―五―一〇六―五三二―一

